



われら那高生！(Vol. 4)

☆真・善・美☆

★和歌山県立那賀高等学校★



1 R 3 県高校総体の結果報告

昨年度実施できなかった「県高等学校総合体育大会（県高校総体）」が県内各地で開催されました。

大会での結果はともかく、新型コロナの感染予防に努めながら全員が大会に出場できたことが何よりで、参加した選手の皆さんのひたむきな姿がとても清々しかったです。大会を通じて、生徒同士が喜びや悔しさを分かち合う機会を持てたことは、とても良い経験になったのではないのでしょうか。

以下に写真とともに、大会の主な結果を紹介します。

月/日	部活動・会場名・成績・その他
5/29～ 6/13	○サッカー（紀三井寺公園園球技場・田辺スポーツパーク・上富田スポーツセンター） ・男子：ベスト8
5/30	○ウエイトリフティング（那賀高校体育館） ・男子81kg級：宮脇佑安 第3位 近畿大会出場
6/ 2～5	○卓球（和歌山県立体育館） ・男子団体戦出場 ・女子団体：2回戦進出 第8位 近畿大会出場 ・女子シングルス：松浦有希 第10位 近畿大会出場 山崎志穂 第31位 順位決定戦で1位，近畿大会出場 ・女子ダブルス：山崎志穂・中畑有理 第16位 近畿大会出場 木下稚菜・松浦有希 第25位 近畿大会出場
6/ 3～6	○ハンドボール（県立橋本体育館） ・男子：第3位 近畿大会出場 ・女子：第3位 近畿大会出場
6/ 4～6	○剣道（和歌山ビッグホール） ・男子団体：ベスト8 近畿大会出場 ・男子個人戦出場 ・女子団体，女子個人戦出場
6/ 4～8	○バスケットボール（海南市拝待体育館・河南体育館） ・男子出場 ・女子出場
6/ 5～7	○バレーボール（田辺市体育センター・田辺スポーツパーク・広川町民体育館） ・男子：決勝トーナメント進出，ベスト8 ・女子：決勝トーナメント進出
6/ 3～7	○ソフトテニス（かわべテニス公園） ・男子団体：2回戦進出 ・男子個人戦出場 ・女子団体：2回戦進出 ・女子個人：ベスト32
6/ 4～6	○陸上競技（紀三井寺公園陸上競技場） ・女子100m 久保田美羽 第2位 12秒20 近畿大会出場 ・女子200m 久保田美羽 第2位 25秒07 近畿大会出場 ・女子800m 東山采耶花 第3位 2分20秒61 近畿大会出場
6/18 ～20	○陸上競技近畿大会（神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場） ・女子200m 久保田美羽 第3位 24秒71 インターハイ出場
6/ 5・6	○空手道（箕島高校体育館） ・女子団体：第3位 ・女子個人：形 豊釜綾巳 第5位
6/ 5～7	○バドミントン（和歌山ビッグウェーブ） ・男子団体：ベスト8 ・女子団体：準優勝 ・女子シングルス：川口花留 第3位、藤井七海 第3位 ・女子ダブルス：川口花留・藤井七海組 準優勝 インターハイ出場
6/ 9～10	○水泳（秋葉山公園県民水泳場） ・男子 50m自由形 志津翔貴 第7位 26秒38 近畿大会出場 ・男子100m平泳ぎ 志津翔貴 第5位 1分10秒90 近畿大会出場 ・男子200m個人メドレー 眞鍋和士 第6位 2分26秒05 近畿大会出場 ・男子400m個人メドレー 眞鍋和士 第4位 5分18秒89 近畿大会出場 ・男子100m背泳ぎ 松浦 湊 第6位 1分11秒55 近畿大会出場 ・男子100m背泳ぎ 松浦 湊 第3位 2分31秒69 近畿大会出場
6/19・20	○柔道（白浜町立総合体育館） ・男子団体：ベスト8 ・男子90kg級：岡本大和 準優勝 近畿ジュニア選手権大会出場



女子バスケットボール



男子ハンドボール



男子バレーボール



陸上競技



剣道



女子バレーボール



柔道



女子卓球



空手道



女子ソフトテニス



男子サッカー



ウェイトリフティング

2 壮行会 II ～壮行会激励の言葉より～

県・近畿高校総体などの結果を受けて、1学期期末考査終了後、近畿や全国大会に出場する選手に、校内放送による壮行会を行い、出場選手の決意表明や激励の言葉を送る機会を設けました。

激励の言葉として、どのクラブにおいても普段から一生懸命、熱心に部活動に取り組んでいることを前提に、陸上競技部の練習風景を参観した時の様子を例に、他人の目や言動に惑わされることなく、普段から「自主的な力」を持って部活動に臨んで欲しいという思いを伝えました。また、本校を3年前に卒業した吉田 守一(よじ しいち)さんが、21歳最年少で、15名という狭き門を突破して東京オリンピック2020大会ハンドボール日本代表選手、通称「彗星 JAPAN」のメンバーに選出されたことを報告し、オリンピックでの活躍を期待することを伝え、それぞれの大会に出場する選手諸君にエールを送りました。

大会に出場する選手のみならず、本校の生徒の皆さんには、絶えずこの地域において注目される存在で、いつも「那高生としての誇り」を持って欲しいという思いでいます。どんな場面においても「さすが那高生」と思ってもらえることが、様々な活動をしていく時の活力となり、互いに高め合う気持ちにもつながっていくからです。

今夏、運動部、文化部で全国・近畿の大会に出場する生徒、特に、文化部では、7月31日から8月6日までの期間、和歌山県の各地で「第45回全国高等学校総合文化祭の国わかやま総文2021」が開催され、大会に出場する生徒、準備等で参加する生徒たちの晴れの舞台が待っています。

それぞれの大会での「那高生」の活躍を大いに期待しています。

壮行会 II 参加メンバー及び風景

